

# 2013 年度大瓜生山祭 報告書

## ●テーマ 「GURUGURU」

一人でも多くの京造生、そして学外の方々をグルグルと巻き込んでいき、一緒に大瓜生山祭を作り上げていきたいという思いを、この「GURUGURU」というテーマに込めました。

## ●開催日時

1 日目：9 月 21 日 10 時～ 20 時 2 日目：9 月 22 日 10 時～ 20 時

## ●来場者数 ※( )内前年実績

1 日目：4632 名 (5574 名) 2 日目：5787 名 (3757 名) 合計：10419 名 (9331 名) 前年比 112%

## ●各部署の主な仕事内容

統括：学園祭内の各セクションのとりまとめ。学生作品展、教学事務室、  
学生生活委員会との連携および情報共有。

一般企画：学生による応募企画のとりまとめ、および運営。

フードコロシウム：フードコロシアムの企画および運営。

野外ステージ：野外ステージでの催し物の企画、運営。

新喜劇：京造新喜劇の企画および運営。祇園花月との情報共有および連携。

ファッションショー：ファッションショーの企画および運営。

広報：学内外への広報活動、学祭パンフ制作、Web サイト制作。

装飾：学内装飾物や誘導サイン、インフォメーション看板制作。

会計：収支管理、つり銭準備。

保健：飲食店参加者の検便、衛生講習、アルコールバンド発注、救護セットの準備。

## ●各部署の良かった点、悪かった点、改善点

### 一般企画

学生企画の応募数増加を狙い、「応募企画総数 100」を目標に掲げた。補助金を設定したり、募集期間を昨年よりも長く設けたりと、様々な工夫を凝らした。

良かった点：・企画数が 100 を超え、昨年（企画数 65）を大幅に上回った。

・企画内容が多様で面白いものが多かった。

悪かった点：・企画の数が多いにも関わらず、運営体制が昨年と同じだったため、負担が大きくなった。

・一部の企画と連絡をうまくとることができなかった。

・部署内でメンバー間の連携がうまくいかなかった。

改善策：・部署内でしっかり連絡を取り合える仕組みを作る。

- ・募集カテゴリーを「飲食」、「展示」、「物販」以外に「その他」を加え、適宣担当を決める。

### 野外ステージ(芝生広場)

できるだけ多くのパフォーマンスを紹介するために、空き時間を作らず、10時～17時30分をフルに使った。学内だけでなく、人気のあるバンドを呼び、集客の増加を狙った。

よかった点：・新しくバンドを知ってもらえた。

- ・学祭全体のBGMにもなった。
- ・のべ400名の動員があった。

悪かった点：・音量に対する近隣住民からの苦情があった。

- ・出演者の知名度にもよるが、お客さんの入りはかなり差があった。
- ・当日まで、準備をほとんどリーダーだけで進めてしまった。  
(重要な事を決める時は集まった)

改善策：・大学から近い地域は挨拶まわりをより丁寧に行う。

- ・当日の集客の仕方を工夫する。
- ・部署内メンバー間でもっと協力しあう。

### 京造新喜劇(9/22 14:00～ 春秋座)

吉本祇園花月とヤノベ先生とのコラボレーション企画の流れで、学園祭での新喜劇企画がスタート。吉本新喜劇の指導を受け、セオリーを守りながらも脚本から全てオリジナルで、京造ならではの新喜劇を目指した。

良かった点：・公演後に面白かったという声を沢山の人から頂いた。

- ・春秋座1階席を満席にすることができた。来場者は480人だった。
- ・プロと関わることができ、部署内全体が引き締まった。

悪かった点：・企画の動き出しが遅かったので全体的に追われていた。

- ・春秋座の使用規約の事を知らなかったことにより、話が通じている所、通じてない所があった。
- ・チケットの入稿が出来ていなかったため、当日にチケットが届かなかった。
- ・春秋座のライセンスの事を知らない人が多かった。
- ・美術部署のメンバーが少なかった。
- ・広報部署の人数が少なく、ポスターやパンフを作るのに苦戦した。
- ・予約をしていない人が当日券を求めてきたが、席がなかった。

改善策：・来年もやるのであれば、企画が始まる頃からメンバー募集をすべき。

- ・役割分担をきちんと行い、早めに行動するようにする。
- ・春秋座の機材を操作するためのライセンスと会場誘導をするためのライセンスが必要なことを認識し、人を集める。できなければその分の人件費が必要
- ・美術部署メンバーを最低でも8人以上は必要。
- ・上回生も積極的に参加してもらおうよう呼びかける。
- ・動員数が見込めるので春秋座の2階席も使えるようにする。
- ・代議員でやるのではなくて、プロジェクトとして来年も行ってほしい。
- ・衣装部署や小道具を作る部署は必要。

## ファッションショー (9/21 12:30～ 春秋座)

音響、照明等演出にこだわり、特殊効果も取り入れたクオリティの高いファッションショーを実現することを目指した。動員数はのべ700人。

良かった点：・チームごとの衣装は、それぞれの色が出ていてよかったのではないかと思う。

・目標どうりのクオリティの高いファッションショーを実現できた。

悪かった点：・あまり公に参加者の募集をしなかった。

・予算はかなり高額で申請していたが、それでも少し足りなかった。

・当日スタッフが少し足りなかった。

・ファッションショーのポスターやフライヤーは、内容が少し伝わりにくいものだった。

改善策：・もう少し広報活動や告知をしっかりと行い、学内の参加者を増やす。

・当日スタッフの増員。

## フードコロシアム(人間館1階)

恒例化している企画。今年は、食券制であることが利用者に伝わるように、その情報を学祭パンフに載せたり、看板を見やすく設置するなどして工夫した。

売上の詳細と上位3学科

14店舗 全250円均一

売上 9606食 2,401,500円 (前年度 7013食 1,757,940円)

1位 環境デザイン学科 (1449食)

2位 プロダクトデザイン学科 (1249食)

3位 文芸表現学科 (1134食)

良かった点：・売上食数の増加(前年度比)。総売り上げ食数9606食。

・お店一つ一つのクオリティが高いとの声を頂いた。

悪かった点：・各学科への働きかけが不十分でチームエントリーの完了が遅れた。

・学園祭当日の店舗見回り、エリア見回り(ゴミ捨て)が不十分だった。

・衛生面 衛生面(メニュー作成、検便等)に関する事項の伝達が完全ではなかった。

・混雑時、実行委員が、お店に並ぶお客さんの誘導をしっかりとできていなかった。

・待ち時間が長いのもっと回転率をあげてほしいとの声を頂いた。

改善策：・周知活動をもっと大規模に行う。

・8月中にはレンタル業者と連絡を取る。

・誘導やゴミ処理の人員が足りていなかったため、当日スタッフを増員する。

・保健部署、保健センターとの連絡を密に行う。

## 広報部署

良かった点：・学生企画募集期間に、説明会やビラ配りを学内で実施したことで例年に比べ、多くの企画が集まった。

・予算削減のため、WEBを学生で作成した。

・ポスティングを広範囲にすることができた。

・代議員ではない学生の協力も得ることができた。

- 悪かった点：
- ・ 部署内での情報共有が不十分だった。
  - ・ 広報物作成のメ切を守れなかった。
  - ・ 一つ一つの作業がスケジュールよりも遅れていた。
  - ・ 部署長ミーティングの内容が正確に伝わっていなかった。
  - ・ 最初、部署長が一人で、作業がしっかりと割り振られておらず、あまり機能していなかった。
  - ・ WEB を学生で作成したため、完成が予定より大幅に遅れた。
  - ・ SNS の更新が滞っていた。

- 改善策：
- ・ メールの確認、返信はこまめにする。
  - ・ また、会議があった場合は参加しなかった人のため議事録をとって全員にまわす。メ切や予定、仕様ははやめに設定し、ラフ、1稿、2稿をかさねてチェックして完成させる。
  - ・ 目的から逆算してスケジュールを作成する。

## **装飾部署**

去年のものを流用しながら、新たに「GURU GURU」というテーマに添ったオブジェを作成した。

- 良かった点：
- ・ 装飾物がテーマに沿っていて分かりやすかった。5m の装飾が好評だった。
  - ・ 2012 年度の先輩が作った万国旗を今年も使えた。万国旗の力が大きいから毎年使うべき。
  - ・ 装飾の数が去年より増えて良かった。
  - ・ 案内看板が増えて移動がしやすかった。
  - ・ 予算を削減できた。

- 悪かった点：
- ・ 動き出しが遅かったので9月からバタバタしていた。
  - ・ 去年のうりやまさんを設置し忘れた。

- 改善策：
- ・ もっと早くからスケジュールを決めて行動するべき。皆のスケジュールの都合もあるので早めに伝える。
  - ・ 2012 年のうりやまさんを使ってください。

## 全体としての反省と改善策

- ・情報共有をできていない部署が多かった。
  - 細目に連絡を取り、定期的に部署内ミーティングをして議事録を残す。
- ・@カフェにゴミ箱が全然足りなかった。
  - 仮設のゴミ箱を6か所以上設置する。
- ・各部署のメンバーリストができるまで時間がかかり、動き出すのが遅かった。
  - 後期最後の代議員総会で1回生の中から統括および部署リーダーを決定し、できるだけ早い段階でメンバーも決める。
- ・どこで何をやっているのか分かりにくいとの意見をいくらか頂いた。
  - 昨年に比べ、案内看板は増えたが、まだこのような意見が寄せられる。そのため、装飾部署がより多くの誘導看板を制作する。
- ・学祭前日の準備の段取りを全体で共有できていなかった。
  - 最低でも部署長は、備品レンタルや装飾の段取りを理解しておく。準備は担当部署に関わらず、全員で行うので必ず必要。
- ・うまく全体が機能しない部署が多く、負担の大きいリーダーが多かった。
  - 仕事の分担を早い段階で決め、責任の所定を明確にする。各部署にリーダーは必ず二人以上たてる。
- ・プロジェクト化したお化け屋敷ややんちゃく連との情報共有ができておらず、問題が起きた。
  - 学祭実行委員が担当しない企画内容もある程度把握しておく。
- ・来場者が行きにくい未来館や、至誠館が盛り上がり欠けた。
  - BGMを流す、看板を大きくするなど工夫する。
- ・前夜祭の準備を始めるのが遅かった。
  - 8月末には動き始めたほうが良い。
- ・18:30には人が激減するので、終了時刻は19:00が良いのでは。

## 来年度に向けて

今年は、昨年度の情報の引き継ぎがうまくいっていなかったり、動き出すのがおそかったり、部署内、部署間の情報共有がしっかりできていなかったりと根本的なところに主な反省の原因があったと思う。来年の実行委員は、今年部署長としっかりと連絡を取り合ってもらいたい。また、メンバーが決まったら、最初に、ミーティングの決まりや、部署の仕組みをしっかり考えたい。できることなら、来年3月の代議員総会で実行委員メンバーが決まっていることが理想だと思う。

